

阿賀野川河川事務所では、阿賀野川の自然再生事業の一環として、焼山地区ワンド再生に取り組んでいます。11月5日に開催した第2回焼山地区ワンド再生懇談会では、9名の地域の方々にご参加いただきました。第2回懇談会ではワンド再生のイメージについて、ご確認いただくとともに、ワンドの利活用とその課題について貴重なご意見をいただきました。

今後、阿賀野川河川事務所では、焼山地区ワンド再生の工事に着手いたします。

■ 第2回焼山地区ワンド再生懇談会の開催概要

テーマ	焼山地区ワンド再生への関わりを考える
開催日時	平成 25 年 11 月 5 日 (火) 19:00~21:15
場所	阿賀野川きょうがせ防災ステーション
参加者	9名 (地域の皆様)
事務局等	12名 (事務局:阿賀野川河川事務所・コンサルタント、 関係者:新潟市・阿賀野市)



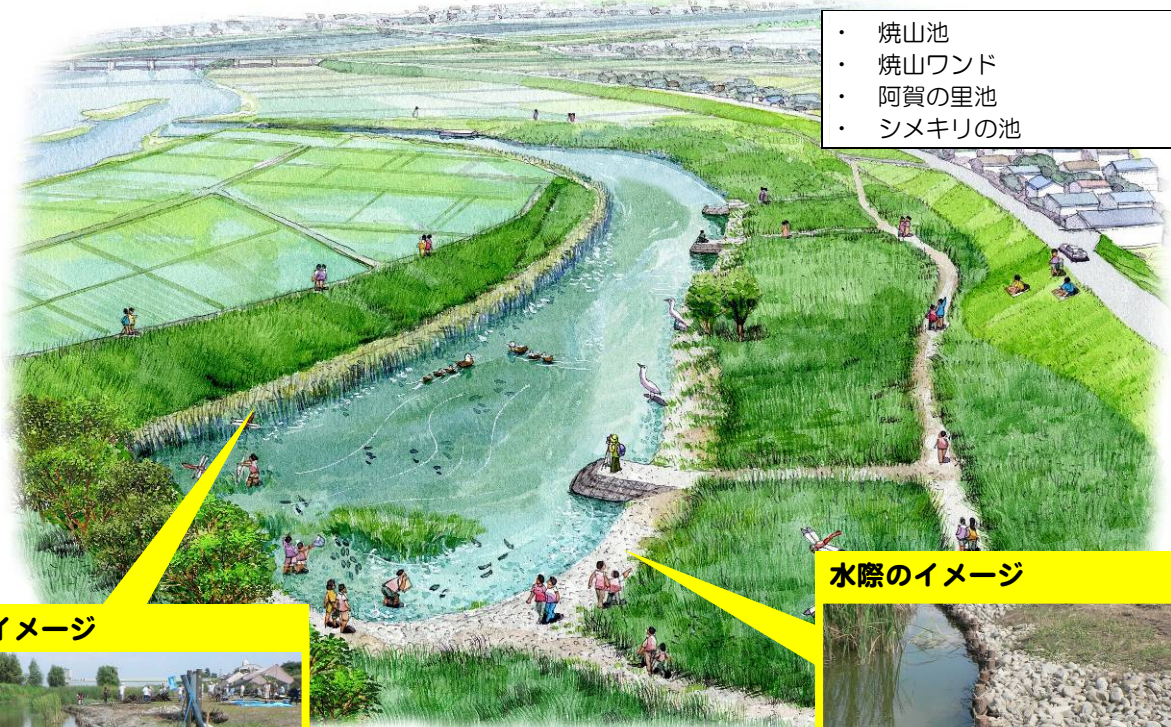
ワンド再生イメージへの意見交換

1. 焼山地区ワンド再生のイメージ確認

第1回懇談会において参加者の皆様からいただいたご意見をもとに、事務局が作成した焼山地区ワンド再生のイメージについて解説し、参加者の皆様にご確認をいただき、今後のワンド再生計画についてご了承をいただきました。

■ 池の名前のアイディア

- ・ 焼山池
- ・ 焼山ワンド
- ・ 阿賀の里池
- ・ シメキリの池



水際のイメージ



水際のイメージ



焼山地区ワンド再生イメージ

2. 地域による利活用のアイデア出し

地域の皆様に焼山地区のワンドに対する愛着を持っていただく最初のきっかけとなる記念イベントの実現に向けて、日常的な活用とイベント利活用についてアイデアを出していただきました。



1班のグループ作業風景



2班のグループ作業風景



中間発表

■地域による利活用のアイデア（一部抜粋）

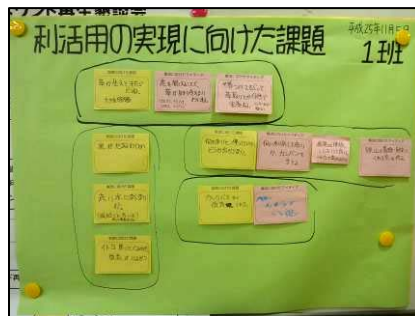
<p>【日常的な活用】 ★：優先順位高</p> <p>★子どもの川遊び（川魚釣り、ゴムボート遊び）の場所として利用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の農園として使えたら良い。 ・堤防などで彼岸花を植えると良い。 ・工業団地の方が昼休みに憩いの場や食事の場所として利用する。 ・冬季の際、スキーやそり遊び、カメラの撮影コンテストの開催などとして利用する。 	<p>【イベントとしての活用】 ★：優先順位高</p> <p>★地域行事イベントに合わせて、家族を連れて出掛けるなどとして利活用ができると良い。</p> <p>★魚（サケ・フナなど）を放流して子どもたちがつかみ取りする。（阿賀野川流域は11月8日にフナ稚魚放流）。</p> <p>★川辺の脇に花（コスモス等）を植える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供でボートレースをする。 ・川から流れてきた樹木を流木アートとして展示する。ストーンペインティングと合同開催すると良い。
---	--

3. 焼山地区ワンド再生に向けた課題への意見

焼山地区ワンドの利活用のアイデアを踏まえて、実際の利活用にあたって課題となること、及びその解決に向けたアイデアについて、ご意見をいただきました。



全体意見まとめ・発表



1班の意見をまとめたパネル



2班の意見をまとめたパネル

■焼山地区ワンド再生に向けた課題への意見（一部抜粋）

<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間の経過に伴って雑草が生えてくると問題になる。 ・使用ルールを決めないと、何をどう使って良いのかわからない。 ・ブラックバスなど外来魚種が密放流される。 ・様々な団体との連携がないと、円滑な運営ができない。 ・猟銃の使用に気を付けないと、遊びに来る人に危険である。 ・堤防道路では車がスピードを出すため、横断する時、危険である。 	<p>【解決に向けたアイデア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花を植えることによって雑草の繁殖を抑制する。 ・何に利用して良いか、看板を設置して掲示するとともに、焼山を管理・見守ってくれる会を創設する。 ・不法放流を防ぐために、監視カメラを設置する。 ・漁協、コミュニティ協議会、周辺小中学校等に協力を要請し、共同で運営する。 ・狩猟禁止地区にすることで、猟銃使用を禁止する。 ・堤防道路に信号を設置する。または、堤外地（河川敷）に駐車場を設置する。
--	---